

授業科目名 <英訳>	行動科学 【領域5】 Behavioral Science				担当者所属・ 職名・氏名	医学研究科 教授 医学研究科 助教	古川 壽亮 小川 雄右				
配当 学年	専門職	単位数	1	開講年度・ 開講期	2017・ 前期前半	曜時限	火1	授業 形態	講義	使用 言語	日本語及び英語
【授業の概要・目的】											
I. コースの概要 人間行動に関連する理論の基礎について学習する。特に実践的に有用であることが示されている理論を中心に学習する。											
II. 教育・学習方法 パワーポイントスライドによる講義、グループディスカッション											
【到達目標】											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主な行動理論について説明することができる。</li> <li>・行動理論の応用・適用を考えることができる。</li> </ul>											
【授業計画と内容】											
第1回 4月11日 イン트로ダクション、ヘルスビリーフモデル											
第2回 4月18日 トランスセオレティカルモデル、計画的行動理論											
第3回 4月25日 社会的認知理論											
第4回 5月9日 認知行動理論、認知行動療法											
第5回 5月16日 ストレスとコーピング											
第6回 5月23日 メンタルヘルス（精神および行動の障害）											
第7回 5月30日 まとめ（1）											
第8回 6月6日 まとめ（2）、試験											
【履修要件】											
MPHコア（選択必修）											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
平常点（出席を含む）50点、試験50点（単位取得のためには、合計で60点以上が必要。）											
【教科書】											
毎回、講義資料を配布する。											
【参考書等】											
（参考書） 必須テキスト：なし											
推奨テキスト： ・Glanz et al. Health Behavior and Health Education-theory, research and practice. 4th edition. Jossey-Bass, 2008（行動科学の定番的教科書です。部分訳が出版されています「健康行動と健康教育 - 理論、研究、実践」（曾根智史ら、医学書院、2006年）） ・松本千明. 医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎、医歯薬出版、2002（簡略に要領よ											
----- 行動科学 【領域5】(2)へ続く -----											

行動科学 【領域5】(2)

く行動科学の種々の理論がまとめられています)

[授業外学習(予習・復習)等]

復習をすること。

(その他(オフィスアワー等))

その他メッセージ

人間健康科学系専攻学生の受講可否：不可

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。